

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成17年4月28日(2005.4.28)

【公開番号】特開2000-232746(P2000-232746A)

【公開日】平成12年8月22日(2000.8.22)

【出願番号】特願平11-32453

【国際特許分類第7版】

H 02 K 3/38

F 04 B 39/00

H 02 K 5/22

【F I】

H 02 K 3/38 A

F 04 B 39/00 106 B

F 04 B 39/00 106 E

H 02 K 5/22

【手続補正書】

【提出日】平成16年6月18日(2004.6.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

内周部に沿って複数の磁極歯が所定間隔を有して放射状に一体成形される円環状の継鉄鉄心と、この継鉄鉄心の磁極歯に絶縁部材を介して巻装され多相巻線を形成する巻線とを備えた圧縮機用電動機の固定子において、

それぞれの上記巻線端末の一部をそのまま直接引き出して電源接続線となすことを特徴とする圧縮機用電動機の固定子。

【請求項2】

上記巻線から直接引き出される電源接続線には絶縁部材が被せられ、

中央の電源接続線を中心にして互いの電源接続線がよじられて一体化したことを特徴とする請求項1記載の圧縮機用電動機の固定子。

【請求項3】

ケース内に、電動機部と圧縮機構部とを回転軸を介して連結した電動圧縮機本体を収容してなる電動圧縮機において、

上記ケースは、

少なくとも一端部が開口される筒体であり、この開口部を介して上記電動圧縮機本体が挿入されるケース本体と、

上記電動機部を構成する固定子から直接引き出される複数の電源接続線と電気的に接続するための接続具を備え、上記ケース本体の開口部を覆うとともにケース本体に固定される端部ケースとからなり、

中央の電源接続線を中心にして互いの電源接続線がよじられて一体化され、かつよじり方向と同一の周方向に折り曲げられることを特徴とする電動圧縮機。

【請求項4】

ケース内に、電動機部と圧縮機構部とを回転軸を介して連結した電動圧縮機本体を収容してなる電動圧縮機において、

上記ケースは、

少なくとも一端部が開口される筒体であり、この開口部を介して上記電動圧縮機本体が挿入されるケース本体と、

上記電動機部を構成する固定子から直接引き出される複数の電源接続線と電気的に接続するための接続具を備え、上記ケース本体の開口部を覆うとともにケース本体に固定される端部ケースとからなり、

上記電源接続線の中途部は、絶縁片に形成される溝部に掛止されることを特徴とする電動圧縮機。

【請求項 5】

上記電源接続線は、上記絶縁片の溝部に掛止された状態で、所定方向にねじられることを特徴とする請求項 4 記載の電動圧縮機。

【請求項 6】

上記絶縁片に設けられる溝部は、絶縁片の周方向に沿ってほぼ等配の位置に設けられることを特徴とする請求項 4 および請求項 5 のいずれかに記載の電動圧縮機。

【請求項 7】

上記溝部は、絶縁片の周端縁から中心に向かって設けられる切欠きであり、その開口端側の幅寸法は底部側の幅寸法よりも大に形成されることを特徴とする請求項 4 ないし請求項 6 のいずれかに記載の電動圧縮機。

【請求項 8】

ケース内に、電動機部と圧縮機構部とを回転軸を介して連結した電動圧縮機本体を収容してなる電動圧縮機において、

上記ケースは、

少なくとも一端部が開口される筒体であり、この開口部を介して上記電動圧縮機本体が挿入されるケース本体と、

上記電動機部を構成する固定子から直接引き出される複数の電源接続線と電気的に接続するための接続具を備え、上記ケース本体の開口部を覆うとともにケース本体に固定される端部ケースとからなり、

上記固定子の電源接続線の中途部は、絶縁片に形成される溝部に掛止されるとともに互いによじられて一体化され、かつよじり方向と同一の周方向に折り曲げられることを特徴とする電動圧縮機。

【請求項 9】

上記固定子の電源接続線に、それぞれ絶縁部材が被せられることを特徴とする請求項 3 ないし請求項 8 のいずれかに記載の電動圧縮機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

【課題を解決するための手段】

上記目的を満足するために本発明の圧縮機用電動機の固定子は、請求項 1 として、内周部に沿って複数の磁極歯が所定間隔を存して放射状に一体成形される円環状の継鉄鉄心と、この継鉄鉄心の磁極歯に絶縁部材を介して巻装され多相巻線を形成する巻線とを備え、それぞれの上記巻線端末の一部をそのまま直接引き出して電源接続線となすことを特徴とする。